

30万人の
個性が咲く、
世界に
ひとつの
もりおかへ。

BEGIN

「BEGIN」の意味: 始める、着手する、開始する 盛岡に新しい風を吹かせていこう、一緒に始めていこうという思いを込めました。

内舘しげる

BEGIN

盛岡の未来への提案

30万市民の
個性と歩む
リーダーへ。

内舘しげる

30万人の
個性が咲く、
世界に
ひとつの
もりおかへ。



先輩方が創ってきたこの盛岡が私は大好きです。そして
生まれ育てくれた盛岡への恩返しの気持ちを持ち続けて
きました。私にとっての再挑戦の原点であります。

この10年間で盛岡は元気を失い、それは数字にも表れています。

・年間商業売上 H16年 1.36兆円 → 1.02兆円 (25%ダウン)

・商業事業者数 H16年 4,221 → 3,025 (28%ダウン)

今の子供たちが社会で活躍する頃(2045年)には
盛岡の人口も 30万人 → 24万人になると言われ

人口の2.6人に1人が65歳以上、4.4人に1人が75歳以上です。

1人か1.5人の青年・壮年・中年で1人の高齢者を支えていく社会となります。

今までの常識が通用しない

人口減少・超少子高齢化の時代へと突入してまいります。

このままでは未来を担う子供・孫たちの世代はどうなってしまうのか

私たちの世代は今一番の働き盛りの世代であり、次世代へ

盛岡を引き継ぐ責任をおっています。一番汗をかき、先頭へ

立ち、新しい風を吹かせていかなければならない。強く
思っています。

「挑戦」「女性」「若者」「多様な価値観」「心を寄せる」

を大切に“歳を重ねていくことが幸せ”

“皆が住み続けたい”と思えるまちを

活カと誇りに満ちた北東北の中心都市を

皆と一緒にご力を合わせて創ってまいります。

内館 茂

(経産省 商業統計, 経済センサス活動調査, 人口問題研究所 将来推計人口)

ひとりひとりの個性や 価値観を認め合うまち

あたらしい盛岡を創りあげていくためには、
多様な思考や価値観を持つひとりひとりが自由に物事を考え、
アクティブに行動できる環境が必要です。

性別や年齢、人種、学歴、こころや身体など、他者との「違い＝個性」をお互いに認め合い、
大切にして、生きづらさを感じる人がいないまちを目指します。
もちろん、あなたもその一人です。

とくに女性の意思が尊重され、認められ、ストレスなく、個性やアイデアを活かして、
自由に人生を選択できるようなまちでありたいと考えています。

- ◎医療・介護・ボランティア・交通の利便性を確保。楽しく安心して歳を重ねられるまち。
- ◎「お年寄りが楽しく歳を重ねる幸せ」「女性」「スペシャルライツ」「LGBT」等をテーマとする盛岡らしい映画祭の開催。
- ◎障がいのある方の正規雇用率向上、イキイキと働くことのできる場所づくり。
- ◎保育園・幼稚園・認定こども園などは、地域の子育ての拠点であると同時に、老いも若きも皆が集う地域に開かれたコミュニティーの拠点に。



2つの交通拠点を軸に、 中心市街地のにぎわいを

「盛岡駅」「バスセンター」という、ふたつの交通拠点をまちの中心軸にして、
中心市街地を「復活」させます。大型商業施設やネット通販には無い、
お店をはしごして買い物をする楽しさ、商店街の人たちとの心ある交流、
このまちにしかない食体験、そんな賑やかな人の流れを呼び戻す取り組みを行っていきます。
団塊世代の皆さんが75歳以上となり自分で運転することが困難となるであろう
2025年以降、ストレスなく盛岡市内を移動できるまちづくりとして、
市民のみならず国内外観光客にもわかりやすく楽しい、バス・徒歩・自転車、
そして郊外のミニバスや福祉タクシーによる都市交通網の整備を進めていきます。
また、交通系電子マネーとお買い物ポイントを1枚のカードに集約し、お買い物ポイント
がバスの運賃としても利用できる「盛岡オリジナルの地域通貨システム」を導入。
ふるさと納税返礼品として活用したり、ボランティア活動に対してポイントを付与し、
ボランティア意欲も高める新しい仕組みとして活用します。
それらを通して地産外消・域内経済循環を推進します。

- ◎移動するのも楽しめる「バスのあるまち 盛岡」など、人に優しい新公共交通構想の実現。
- ◎人口密度の高い中心市街地づくり。条例等による「1階店舗化、上階の住居化」には、固定資産税等の優遇措置、中央企業の商店会入会促進。
- ◎交通系電子マネーカードなど、すでに機能している地域通貨システムの活用促進と進化。
- ◎自転車と歩行者が共存できる、安全な歩道の整備を推進。
- ◎LRT、トランジットモールの採用等、新世代交通の可能性について市民全体で議論・検討。



広域連携で、世界に伸びゆく 北東北の拠点都市へ

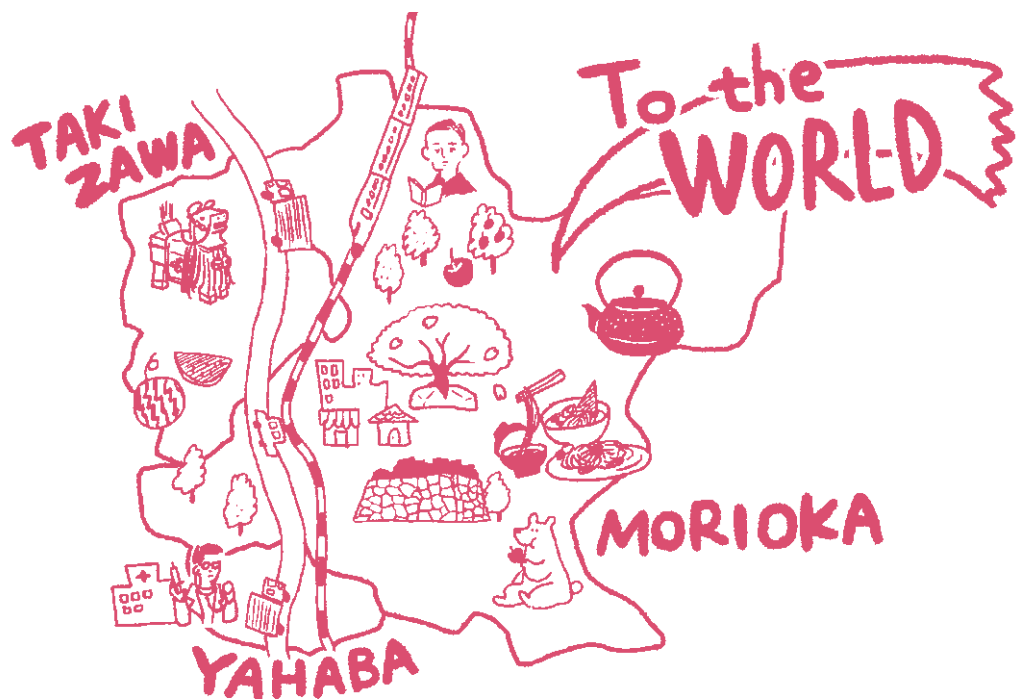
「盛岡・矢巾・滝沢」の連携を強化して都市機能を充実させ、
周辺市町村の活性化にも貢献していくことで、
世界にも稀な機能を有する都市圏を創出します。

とりわけ沿岸の復興に心を寄せ、岩手をリードし、北東北の中心都市を創ります。

「金融、商業、文化の盛岡市」、「医療と流通に強い矢巾町」、「教育とICTに強い滝沢市」。
各々の強みと特徴を活かした横の連携で力強い協力関係を築き、
世界とも戦える魅力ある都市機能を構築。

「役割分担+細心・的確な配慮+運営規模を大きくすることで得られる利点」の相乗効果で、
観光と産業両面において世界にひとつの都市圏を創り上げていきます。

- ◎盛岡西バイパスを南北に延伸する盛岡縦貫道を早期に開設し、
盛岡、矢巾、滝沢間の人と物の流れを円滑化。
- ◎農家・酪農家が安心して良いものを創ることに専念できる環境を整え、
市が先頭に立ってブランド化し、首都圏～世界に発信。
- ◎貴重な税の無駄遣いを防ぐ公共施設の共用化を推進。



もっと力強く、若者、 子育て、地元企業を応援！

若者を中心に「起業意欲」を高める環境づくりに取り組み、挑戦者を物心両面から支援します。
また、バスセンター跡地を本来の機能に加えて、
子育て・子供の居場所・教育・若者の拠点とします。
保育園や認定こども園を動物公園のような自然豊かな場所にも設置し、
バスセンター跡地からもバスで送迎。「延長保育」や「病児保育」を可能にすることで、
子育て世代の利便性を飛躍的に高め、子育てについてなんでも相談できる拠点としても
機能させていきます。

高齢者の介護が必要な世帯にはヘルパーの助成も検討するなど、
高齢者支援と若者支援を一体的に展開。
さらに地元の中小企業や農業の後継者育成対策や課題解決に向けた具体的な取り組みを
行っています。

- ◎若者のアイデアや行動力を支援する「起業家のまち」の実現。
- ◎「バスセンター跡地と盛岡駅」2つのターミナル周辺は、
「子育て」「教育」「若者」の拠点へ。
- ◎3人目の出産に際し空き家を活用した「現物子ども手当」を用意。
- ◎在宅介護を希望する家庭にはヘルパー助成を検討。
- ◎地元企業優先発注の条例化等による地元経済の発展に貢献。



魅力が凝縮した 『絵になるまち』盛岡

「盛岡市民の皆さんの地元愛」「ひとりひとりの物語」を、市民にも来訪者にもわかるように「見える化」していくアイデアです。上ノ橋から下ノ橋までの中津川一体のエリアをひとつの「アートギャラリー」と位置づけ、ヨーロッパでは古いものに価値を見出し、中世のまちの雰囲気が大切に守られているように、大正ロマンを連想させるレトロモダンな街並みにリノベーションし、旧き良きまちの精神を残します。文化芸術と盛岡オリジナルのデザイン力、そして自然景観の融合です。

盛岡には文化を大切にし、芸術を愛する気風があります。歴史的な建造物や豊かな自然に囲まれ、学術研究や子育て、教育にも素晴らしい環境です。川辺には桜や季節の花が咲き、アユが釣れ、鮭が遡上産卵し、冬には白鳥が羽を休め、その向こうには岩手山。住んでいる私たちは気づかないかもしれませんが、これほど「絵になる」可能性を持ったまちは珍しいと感じます。新しい感性・創造性あふれる地元デザイナーもたくさん活躍しています。個の力の集積地として、創造性豊かなまち盛岡を創っていきます。

- ◎アートギャラリーのように歩いたり、もっと人々がオープンに自由に楽しむ場として活用する「中津川リバーサイド構想」
- ◎盛岡の様々な地域の歴史やそこに生きた人、生きている人々が、そこから生み出した物や事。それにまつわる「物語」を絵や形にしてまちをデザイン。



市民とともに、もりおかの 宝物や貴重な意見を有効活用！

「本物の屋台街・桜山」「八幡通り」「つなぎ温泉と中心観光地」「市街地からすぐそこにある本物の自然 岩山」「啄木の故郷 玉山」等、盛岡固有の観光資産を「本物の観光地」として磨き上げていきます。なかでも観光の「へそ」は岩手公園。新しい時代の都市公園として門や広場を再生し、盛岡観光の拠点とするとともに、広場のオープンテラスに多世代が集い、交流し、憩い、地域への愛を育む、一年中いつでも賑わいのある公園にしていきます。観光は外貨獲得の一番の鍵となります。

さらに、民間主導の公民連携で様々な都市経営課題の解決を目指します。私自身の民間企業・一市民としての感覚と志を市役所に注入していくことで、全国でもオンリーワンの、みなさんが住みたいと思えるまちになっていくものと確信しています。盛岡を創るのは「市民の声と、市民の想い」それらに応え、形にし、よりグレードアップしていくために、市民が市政に参画する仕組みとして、市長直轄の「部局横断型の戦略室」を新設します。「市民サービスの向上」「盛岡ブランド等の対外的な営業活動強化」「公民連携のまちづくり」「長期ビジョンの策定」「市民の声のデータベース化とオープン化」を目指していきます。

- ◎まちで一番の不動産オーナーである盛岡市が遊休不動産を有効活用し、エリアの価値を向上させ、税収を増やし、かつ市民の利益にもつなげていく、「稼ぐまちづくり」を実現。
- ◎本物の岩手県産材を活用した「盛岡城」「岩手公園エリア」の整備、賑わいのある都市公園づくり。
- ◎市長直轄の「部局横断型の戦略室」を新設するなど、市民の声を取り入れた市政運営。誰でも参加できる市民とのランチ会を月1回開催するなど、声を聴き市政に反映させる機会を創出。

PROFILE SHIGERU UCHIDATE

生年月日 昭和 41 年 9 月 28 日生まれ

家族構成 妻・一男二女の 5 人家族

学歴

昭和 48 年 3 月 盛岡幼稚園 卒園

昭和 54 年 3 月 盛岡市立杜陵小学校 卒業

昭和 57 年 3 月 盛岡市立下橋中学校 卒業

昭和 60 年 3 月 岩手県立盛岡第一高等学校 卒業

平成 2 年 3 月 学習院大学 経済学部経営学科 卒業

職歴

平成 2 年 4 月 TOTO 株式会社 入社

平成 5 年 8 月 丸乃タイル株式会社 入社

平成 15 年 6 月 同社代表取締役社長 就任

平成 18 年 6 月 株式会社 理創生活 設立
同社代表取締役 就任

資格

二級建築士、宅地建物取引士

その他

平成 28 年 公民連携プロフェッショナルスクール受講

平成 29 年 リノベーションスクール受講

岩手県タイルれんが工業会会長

岩手中央職業訓練協会副会長

盛岡市立杜陵小学校 PTA 会長

盛岡市立下橋中学校同窓会副会長

岩手県立盛岡第一高等学校白亜振興会会長

学習院大学岩手桜友会世話役

盛岡大通商店街協同組合理事 / 桜山神社奉賛会常任理事

盛岡南ロータリークラブ会員

盛岡商工会議所 1 号議員

元岩手県高等学校 PTA 連合会会長

元岩手県立盛岡第一高等学校 PTA 会長

2002 年度 社団法人盛岡青年会議所第 50 代理事長

元公益社団法人岩手県法人会連合会青年部会長

平成 30 年 8 月 8 日 現在



0歳、母に抱かれて



杜陵小学校入学式



下橋中学の応援団。体育祭にて



内館しげる事務所

020-0024

岩手県盛岡市菜園 1 丁目 11-6

TEL 019-656-7358

FAX 019-656-7257

e-mail : mail@uchidate.net

 morioka.uchidate.shigeru/

uchidate.net



30万市民の
個性と歩む
リーダーへ。